

『公害原論』

# 宇井純



2007年6月23日[土]

# 純

「宇井純さんを  
偲ぶ集い」  
夜の部

昼の部

公開自主講座

# 「宇井純を 学ぶ」

日時 2007年6月23日(土)  
13:00-16:00

会場 東京大学・安田講堂

主催 公開自主講座  
「宇井純を学ぶ」実行委員会

共催 日本環境会議

日時 2007年6月23日(土)  
18:00開場  
18:15-20:45

会場 文京区民センター  
3A会議室

主催 宇井純さんを偲ぶ会

公開自主講座

# 「宇井純を学ぶ」



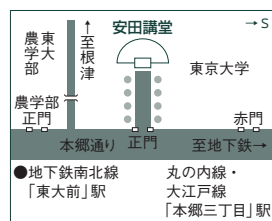
2007年6月23日(土)  
13:00-16:00

会場 東京大学・安田講堂

資料代 1000円 (学生500円)

主催 公開自主講座  
「宇井純を学ぶ」実行委員会

共催 日本環境会議



宇井純さんは、公害と環境の研究と運動において、常に「気になる人」だった。宇井さんの言葉と仕事は、ポジティブに、また人によつてはネガティブにも、強いインパクトがあった。宇井さんはよく歩き、多くの人と語り、そして仕事をした。昨年11月に宇井さんは亡くなったが、彼のインパクトは多くの人たちの中に生きている。「公害に第三者はいない」という科学の客観性と公平性に関わる問題提起、「分からなくなったら現場に出る」という現場主義、「矛盾している情報を掘り下げてゆくとそこに真実がある」という論理的思考と実証的データの重視、「複数の研究分野をもて」という学際的研究の実践、「どんな立場

にいてもやることはある」という連帯への指向など、宇井さんの遺した言葉を、私たちは自分なりに咀嚼し、あるいは批判して、今後に活かす必要がある。そこで私たちは、学問や大学に対する批判も含めて、宇井さんの言葉と仕事が自分にとってどんな意味を持つのかを、宇井さんを直接知らない若い世代とともに考えるための場を企画した。

## 内容 講演 「宇井さんの言葉と仕事は、何だったのか」

- 淡路 剛久 (早稲田大学教授)
- 宇沢 弘文 (東京大学名誉教授)
- 最首 悟 (和光大学名誉教授)
- 桜井 国俊 (沖縄大学学長)
- 原田 正純 (熊本学園大学教授・水俣学研究センター長)
- 宮内 泰介 (北海道大学准教授)
- 吉岡 斉 (九州大学教授)

## 討論 「宇井さんの言葉と仕事を、今後の研究と教育にどう活かすか」

- パネラー
- 鬼頭 秀一 (東京大学教授・環境倫理学)
  - 山下 英俊 (一橋大学講師・廃棄物・リサイクル研究)
  - 友澤 悠季 (京都大学大学院生・公害論研究)
  - 三輪 大介 (京都精華大学大学院生・コモズ研究) ほかに数名。

モデレーター  
小林 和彦・井上 真

公開自主講座  
「宇井純を学ぶ」実行委員  
いずれも東京大学教員

- 井上 真 (農学生命科学研究科・教授)
- 上野千鶴子 (人文社会系研究科・教授)
- 宇沢 弘文 (経済学研究科・名誉教授)
- 金森 修 (教育学研究科・教授)
- 川本 隆史 (教育学研究科・教授)
- 鬼頭 秀一 (新領域創成科学研究科・教授)
- 小林 和彦 (農学生命科学研究科・教授)
- 佐藤 仁 (新領域創成科学研究科・准教授)
- 菅 豊 (東洋文化研究所・准教授)
- 清野 聡子 (総合文化研究科・助教)
- 廣野 喜幸 (総合文化研究科・准教授)
- 丸山 真人 (総合文化研究科・教授)

(五十音順)

## 「宇井純さんを 偲ぶ集い」



人生には  
自然を破壊したり人びとを苦しめたりしないで済む  
そういう選択をする機会が必ずある

もし人が  
生涯にたった一つでいい  
本当に良かれと思う選択をしてくれたなら  
この社会はきっとかわるはずだ

(葬儀で紀子夫人が紹介された故人の言葉)

2007年6月23日(土) 18:00開場  
18:15-20:45

会場 文京区民センター

Tel.03-3814-6731  
3A会議室

参加費 2500円  
(家族と同道の小学生以下無料)

定員 300人

発言 宇井 紀子  
桑原 史成 (写真家)  
坂東 克彦 (弁護士)  
矢野 忠義 (カネミ油症被害者)  
早乙女 順子 (那須の自然に学ぶ会)  
平仲 信明 (元WBA世界Jウェルター級チャンピオン、沖縄在住)  
柳田 邦男 (ノンフィクション作家)  
立川 勝得 (元「大学論」実行委員会) ほか

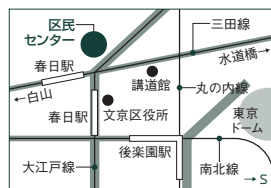
メッセージ 石牟礼道子 [代読]

献杯 土本 典昭 (記録映像作家)

懇談 バイキング方式のドリンク・軽食を用意します。

献花 休憩・懇談時に季節のカラフルな花を献花する  
遺影コーナーを設けます。

主催 宇井純さんを偲ぶ会



「自主講座」と「偲ぶ集い」への賛助金を募っています。お志のある方はご協力ください。 賛助金をお寄せくださった方は、当日の「昼の部 自主講座」「夜の部 偲ぶ集い」の参加費を無料といたします。(会場で昼夜共通チケットをお渡します。)

6.23賛助金 一口 3000円

送金先

郵便振替口座 宇井純さんを偲ぶ会 00160-0-650128

### 新装版 合本 公害原論

1971年の初版刊行以来、版を重ね続けてきた環境問題の“原点”が、「新装版」となって再び登場。それまで企業寄りの技術論に終始していた風潮に警鐘を鳴らし、「公害」の社会的意味を初めて問い、現在の環境学の礎となった記念碑的作品。

宇井 純 著  
定価:3990円(税込)



### 追悼 宇井純氏の 代表作

### 自主講座「公害原論」の15年

反公害運動のみならず、大学改革の先駆的拠点となった伝説の講座。多彩な講師が持論を展開し、「立身出世のためではない、生きるために必要な学問」の創造を追求した15年間の軌跡をたどる。「公害自主講座15年」(1991年、弊社刊)を改題。

宇井 純 編著  
定価:3675円(税込)



亜紀書房 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32  
TEL:03-5280-0261 FAX:03-5280-0263

<http://www.akishobo.com>

# 呼びかけ

昨年11月11日の宇井純さんのご逝去は、私たちにとってこれ以上ない深い悲しみでした。

田中正造ゆかりの栃木で2歳から多感な高校時代までを過ごした宇井純さんは、化学会社に就職後、研究者の道に転じられました。

そして、水俣・新潟の現場を歩き技術者の観点から水俣病加害企業の責任を明らかにしたこと、知や学問のありかたを「公害原論」「大学論」で実践的に問うたこと、その自主講座運動のネットワークで各地の被害者闘争や住民運動を支えたこと、環境に見合った畜産排水処理装置や浄化槽の創案者であること、沖縄で教鞭を執りながら島を覆う乱開発に警鐘を鳴らし続けたこと……余人をもって換え難い数々の実践を真っ直ぐに貫かれた人でした。

人の生命と生活がないがしろにされる事態や、自然環境が切り売りされる状況は、国内外を問わず枚挙に暇ありません。そんな時代であればこそ、反公害運動や環境教育をめぐる宇井さんの言動は、私たちの現在地をとらえ返す鏡・行先を照らす灯として、かけがえがありません。

また、沖縄大学を定年で退職の折、奥様が運転する車で、島伝い陸伝いに日本列島各地の運動仲間を訪ね1ヶ月かけて帰京されたというお話には宇井さんの人柄が偲ばれます。

ご葬儀には全国からのべ700人が駆けつけてお別れをしましたが、私たちはまだ、宇井さんの足跡と業績について学び尽くしておらず、伝え尽くしてもいません。そこで、ご冥福を祈るとともに、生涯をかけて発信されたメッセージを受け止めなおすべく、ご存命だったら75歳の誕生日にあたる6月に「宇井純さんを偲ぶ集い」を企画しました。当日は午後から「公開自主講座 宇井純を学ぶ」も行われます。あわせて、皆様のご参加・ご協力と呼びかけます。

2007年4月

宇井純さんを偲ぶ会

## 賛同者 (\*は「偲ぶ会」世話人)

アイリーン・スミス(グリーン・アクション) / 青山俊介(水俣フォーラム) / 青山正  
\*(反公害輸出通報センター、トライ) / 浅井真由美(協同センター・労働情報) / 荒  
木哲郎(峇北町町民の会) / 安藤多恵子(市民エネルギー研究所) / 生駒研二  
(天草の自然を生かす会) / 諫山茂(水俣病互助会) / 石牟礼道子(本願の会、  
詩人) / 板橋明治(渡良瀬川鉍毒根絶太田期成同盟会) / 井野博満(エントロピ  
ー学会) / 伊波義安(奥開川流域保護基金) / 井上澄夫(元「土の声・民の声」編  
集部) / 上辻孝雄(栃木高校同窓生) / 植村振作(天草の海を考える会) / 大浜  
清(千葉の干潟を守る会) / 生越忠(地質学者) / 尾谷研(教員) / 落合雅雄  
(栃木高校同窓生) / 加藤たけ子(さかえの杜・ほっとはうす) / 金玉靖子\*(元  
「公害原論」実行委員会) / 神山英昭(足尾の緑を育てる会) / 川上敏行(チッソ  
水俣病関西訴訟原告団) / 川鍋昭彦\*(元「大学論」実行委員会、パノオフィス) /  
川原一之(アジア砒素ネットワーク) / 川本ミヤ子(水俣病資料館語り部) / 北垣  
潮(龍ヶ岳の海と食を守る会) / 木野茂(立命館大、大阪市大自主講座) / 久保  
田好生\*(東京・水俣病を告発する会) / 栗原彬(政治社会学者) / 桑原史成(写  
真家) / 高良勉(詩人) / 小林和彦\*(東京大) / 児玉寛太郎(会社役員) / 最  
首悟(教員) / 早乙女順子(那須の自然に学ぶ会) / 坂下栄(合成洗剤追放東日  
本連絡会) / 坂原辰男(田中正造大学) / 坂本しのぶ(水俣病互助会) / 桜井  
国俊(沖縄大) / 佐々木清登(水俣病患者連合) / 佐藤英樹(水俣病患者互  
助会) / 猿山弘子(渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会) / 四方哲朗(シ  
ンテ社) / 実川悠太(水俣フォーラム) / 下田守(下関市立大) / 嶋津輝之(水  
源開発問題全国連絡会) / 菅井益郎\*(国学院大) / 杉本栄子(さかえの杜・ほ  
っとはうす) / 鈴木久仁直(地方公務員) / 関礼子(環境社会学会) / 高木久仁  
子(高木仁三郎市民科学基金) / 鷹取良典\*(レインボー) / 滝澤太郎(滝沢ハ  
ム) / 田嶋いづみ(「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク) / 田嶋龍司(建物  
と人と環境のフォーラム) / 高松健比古(渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議  
会) / 立川勝得\*(元「大学論」実行委員会、亜紀書房) / 玉木讓(河浦の自然を  
護る会、羊角湾を守ろう会) / 谷洋一(アジアと水俣を結ぶ会) / 田村秀明(田中  
正造の生家を守る市民の会) / 土本典昭(記録映画作家、水俣に産廃処分場?と  
んでもない! 全国の声) / 寺西俊一\*(日本環境会議事務局、一橋大) / 旗野秀人  
(新潟水俣病・安田患者の会事務局) / 花崎皋平(さっぽろ自由学校「遊」) / 原田  
正純(熊本学園大) / 坂東克彦(弁護士) / 日吉フミコ(水俣病市民会議) / 平  
仲信明((株)平仲、元WBA世界Jウェルター級チャンピオン) / 広瀬一好\*(Web  
「環っ波」主宰) / 広瀬武(足尾鉍毒事件・田中正造記念館) / 藤田祐幸(エントロ  
ピー学会) / 藤林泰(埼玉大・共生社会研究センター) / 藤原寿和\*(化学物質問  
題研究会、カネミ油症被害者支援センター) / 布川了(渡良瀬川研究会) / 福地曠  
昭(沖縄人権協会、沖縄・ベトナム友好協会) / 船橋晴俊(環境社会学会) / 古谷  
杉郎(全国労働安全衛生センター連絡会議) / 細谷孝(中央大) / 星野芳郎(現  
代技術史研究会) / 真喜志好一(沖縄環境ネットワーク) / 松崎忠男(チッソ水俣  
病患者連盟) / 松本基督(天草の海からホルマリンをなくす会) / 松本勉(水俣病  
市民会議) / 丸山茂樹(生活クラブ生協) / 宮澤信雄(「水俣病事件40年」著  
者) / 柳田邦男(ノンフィクション作家) / 山下英俊\*(日本環境会議事務局、環境  
三四郎) / 山路靖雄(現代技術史研究会) / 矢野忠義・トヨコ(油症医療恒久救  
済対策協議会) / 横田憲一(チッソ水俣病関西訴訟を支える会) / 横山正樹(フ  
ェリス女学院大) / 依田彦三郎(元東大工助手会)

4月10日現在

## 宇井純さんを偲ぶ会

公開自主講座

### 「宇井純を学ぶ」実行委員会

連絡先

113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 トライビル3F 亜紀書房気付

Tel.03-3824-7238 Fax.03-3824-7256

E-mail ui@akishobo.com

郵便振替口座

宇井純さんを偲ぶ会 00160-0-650128

\*当リーフの概要は下記のHPに掲載されています。ネットを通じて多くの方に6.23の案内を広めてくださると幸いです。

日本環境会議 (JEC) <http://www.einap.org/jec/>

環っ波 (Wappa) <http://www.wappa.info/>